

## 第2回中井町地域公共交通会議 議事録

日時：平成24年6月29日（金）午後2時00分～

場所：中井町役場 3階 3A会議室

### 【会議次第】

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付
- 3 協議事項  
(1) 持続可能な生活交通のあり方について（資料1）  
(2) 新たな公共交通システム運行計画（素案）について（資料2）
- 4 その他
- 5 閉 会

### 【協議事項の議事概要】

#### (1) 持続可能な生活交通のあり方について（資料1）

事務局より資料1の説明

委 員：比奈窪バスターミナルは、乗継拠点として十分な機能を発揮していないとの記述があり、5頁には4つの拠点が位置付けられていますが、将来的に比奈窪バスターミナル周辺に商業機能などを誘致することを考えていないのでしょうか。

事 務 局：比奈窪バスターミナル周辺には住宅も少なく、路線バスの利用頻度は決して高くない状況のため、現在、公共施設の集約化を目指し検討を進めています。  
秦野駅や二宮駅方面へ行く際のバス停としての役割は担っているものの、乗継拠点としては課題があるものと認識しており、今後どのように利活用できるのか検討していきたいと考えています。

委 員：施設整備だけでなく、ダイヤ接続の利便性も大きいと思います。路線バスから路線バスに乗り継ぐ際、待たないで利用できることにより利用も増えると思いますので総合的に考えて欲しい。

事 務 局：接続時間は短い方が利用者にとっては利便性が高いですが、全体のダイヤの関係で難しい部分もあります。本計画では町全体で利便性の高いネットワークを構築することを目指していますが、利用が少ない高尾方面や震生湖方面の機能を新しい公共交通システムで代替できるか、バスターミナルのあり方も含めて今後検討していきたいと考えています。

会 長：他はいかがでしょうか。また、次の議事の中でご質問を受けたいと思います。

#### (2) 新たな公共交通システム運行計画（素案）について（資料2）

事務局より資料2の説明

委 員：運行方式として「乗降ポイントを設ける方式」となっていますが、具体的なイメージがあれば教えていただきたい。既存のバス停はどのような取扱いになりますか。

事 務 局：公共施設や民間施設など町民等が利用する場所を中心に選定していきたいと考えています。  
ドア・ツー・ドア方式より自宅近くに乗降ポイントを設ける方式で、町内にある50箇所弱のバス停も活用することも1つの方法と思います。また、路線バスがない地域について

は、自治会館や比較的集まりやすい場所を、病院や福祉施設は施設の近くを選定したいと思っています。バス停については、バス事業者と協議しながら利活用できるか今後調整していきたいと考えています。

委員：運行事業者のバス事業者とは、神奈川中央交通という理解でよろしいですか。神奈川中央交通の場合、デマンドシステムの経験はあるのか、また、運行車両としてワンボックス型車両を2台確保することができるのか教えていただきたい。

事務局：運行事業者は一般的にタクシー事業者かバス事業者という選択肢になりますが、路線バスと共存する形で利便性の高い公共交通ネットワークを構築したいと考えています。町内の路線バス事業者は神奈川中央交通、湘南神奈交バスと神奈中グループが運行していますが、競合することによって路線バスが撤退するという全国的な事例も踏まえ、今回、神奈川中央交通と一緒に新しい公共交通システムを導入したいと考えています。  
車両の手配につきましては、本計画の決定事項の合意が得られましたら、バス事業者等と調整し、段取りを進めたいと考えています。デマンドシステムの経験は、神奈川中央交通はありません。

委員：予約センターは神奈川中央交通の事務所に設置することになりますか。

事務局：予約センターをどこに設置するかは今のところ未定です。神奈川中央交通に設置するのか、町のどこかに設置するのか、今後メリット、デメリットを整理した上で検討していきたい。

会長：先ほどのビデオを拝見すると、予約受付はパートさんでも大丈夫ということですが、ドライバーもシステムで対応することが可能となるため、専門的な知識や経験は必要ないという理解かと思えます。今回、概ねの合意が得られましたら、予約センターをどこにするのか具体的な検討に入るといったことだと思います。

委員：東大オンデマンドシステムを導入するのにどれくらいの費用を想定していますか。

事務局：システムと車載器の合計リース料として、年間150万円程度と見込んでいます。他のシステムと比べて初期費用を安価に抑えることができると考えています。

会長：オペレーター等の人件費は別途掛かることになります。

委員：あまりにも便利なシステムの場合、既存の路線バスの利用者が減少することが危惧されますが、どのように考えていますか。

事務局：路線バスからデマンド交通へ転換するというケースも想定されますが、このシステムの導入の狙いとしてはバス離れを食い止め、公共交通の利用者を増やすことにあります。家族が送迎しているケースや、外出したくても手段がないため外出できないといった潜在的な需要もあると思いますので、このシステムを導入することによって外出機会の増加に繋がりたいと考えています。

委員：実証実験期間として平成25年1～2月を想定していますが、2カ月間でしっかりとしたデータを把握することは可能でしょうか。また、あまり良いデータで無かった場合、どのようにするのか考えはありますか。

事務局：平成24年度は国の調査事業を活用して行います。実証実験期間は最大2カ月となっております。3月に計画反映するというのを考えています。2カ月間でしっかりとしたデータを把握できるかということもありますので、平成25年度も引き続き計画の見直しも含めながら実証運行を行い、本格運行へ移行するか判断していきたいと考えています。

委員：2カ月間の実証運行に係る費用はどのくらいですか。

事務局：調査事業全体でおよそ 900 万円程度です。

会長：計画策定に係る費用や会議の運営なども含めてということですね。

事務局：そのとおりです。

委員：秦野市上地区で、新しい公共交通が運行しているとお聞きしましたがどのような状況かわかりますか。

事務局：秦野市の事例につきましては、参考資料に掲載してあるとおり、既に運行しています。

会長：秦野市は時刻とルートが定まっており、車両はワンボックス型車両で運行しています。利用者数は概ね想定どおりの利用状況と聞いています。

委員：雨の日に小学生や、中学生が部活に参加する際の利用が想定されますが、どちらも同じ時間帯での利用となるため、2台では対応できないと思いますがいかがでしょうか。

事務局：乗車定員 11 人を想定していますが、すべての利用をカバーできるかわからない部分もあります。部活帰りの中学生利用も目的の 1 つとしては考えていますが、出来るだけ対応したシステムとしたいと考えています。

委員：次々の予約が入った場合、到着時間は変更することになりますか。

事務局：最初に予約をした方のニーズを最優先し、次の人はそのニーズに対応することが可能であれば受け付けますが、難しい場合、次の便を予約することになります。

委員：都市マスタープランの中で、公共交通の整備方針として路線バスの維持及び利便性の向上とありますが、運行エリアとして町外を含めると、路線バスと競合することになるのではないかと。現行の路線バスの運行形態を踏まえた形で、デマンド交通を考えた方が町の方針に合っているのではないかと。

事務局：町の公共交通ネットワークとしては路線バスを幹線、デマンドを支線的な機能ということ的前提として考えています。例えば、秦野駅方面へ向かう場合、中村から井ノ口公民館付近までデマンドを利用し、そこから路線バスを利用するなど両者を利活用したシステムを考えています。しかしながら、中井町には大きなスーパーや病院がないため、出来れば行政界からあまり遠くない所まで、乗換えることなく利用することが出来ないのか検討している段階です。また、町民の要望としては秦野駅や二宮駅を目的地として欲しいという要望がありますが、路線バスへの影響や周辺自治体との調整など課題も多いため、今後、検討していきたいと思っています。

委員：町民の求めているのは、ノンストップで秦野駅や二宮駅へ行きたいということだと思います。公共交通空白地域から比奈窪バスターミナルまでデマンドを利用し、そこから路線バスを利用するという方法では、町民は納得しないため、せめて秦野赤十字病院や西友まで直接行けないのかということです。秦野駅や二宮駅へ行けるかどうかは、各市町との調整などもあり、実証運行を通してその先の運行を見据えて、色々と検証したいということだと思います。

委員：路線バスの高尾線は 1 日 7 便しか運行していないため、通学に利用しにくい状況です。比奈窪バスターミナルまで新しいデマンド交通を利用することができれば何とかなる部分もあるため、比奈窪から先の高尾方面の路線を廃止して比奈窪～二宮駅間の運行本数が増えれば利便性は向上すると思いますがいかがでしょうか。

事務局：運行本数が増えれば利用が増えるということもありますので、幹線部分の利便性向上も含めて、バス事業者と調整し検討していきたいと思っています。

- 委員：震生湖線は朝8時以降11時まで路線バスがないため、その間をもう少し運行できないでしょうか。
- 委員：利用が確実に見込めないと運行本数を増やすことができたため、利用が少ない場合はこのデマンド交通の方が向いていると思います。
- 委員：三重県玉城町では高齢者がスマートフォンを利用し近代的な感じを受けましたが、中井町でも高齢者にスマートフォンを貸し出すことを考えていますか。
- 事務局：中井町では考えていません。
- 委員：中井町では定住を促進するために公共交通の充実を目指していますが、町内からグリーンテクへ行くのに利用することが出来ますか。出来る場合、同じ時間帯に利用が重なる可能性もありますが、どのように対応することになりますか。
- 事務局：町内からグリーンテクへのアクセスは可能なシステムとしたいと考えています。どのような需要があるのか把握できていませんが、需要がある場合は対策を考えていきたいと思います。
- 委員：現在は各企業で駅から送迎バスを運行していますが、グリーンテクで働いている方が中井町に住みたいと思ってもらうことも必要と思います。
- 会長：利用可能なシステムということはそのとおりでと思いますが、どのような利用を想定しているのか、どのような方を優先的に考えるのか、次回までに事務局で整理していただきたいと思います。利用登録をするにしても何もしないと進まないため、どのような方に利用を進めていくのか明らかにすることが必要で、その中で企業も対象とするのか、判断が必要かと思えます。
- また、コンビニクルは先に予約した方が優先して利用できるというシステムのため、その日その日の予約状況に合わせて利用するものだと思います。利用者の頭の切り替えが必要なため、今後、上手にPRしていただきたいと思います。
- もう1つは、玉城町の場合、役場などの機能が町の中心に集中しているため、上手に利用出来ていると思いますが、中井町の場合、目的地が点在しているため、玉城町のように乗合になるかどうかは実証実験の中で検証が必要だと思います。玉城町は福祉センター等を利用する場合、9時「頃」と概ねの時刻で予約が可能と思いますが、路線バスへ乗り継ぐ場合、ピンポイントでの時間の接続が必要で可能なシステムでしょうか。
- 事務局：予約を受ける際、ゆとり時間を設けて配車するシステムのため、到着時間を設けて、接続することは可能と聞いています。
- 会長：路線バスとの乗継に利用できるのか、実証実験を行っている他の自治体と想定が違うのではないのでしょうか。
- 事務局：東大の方に現地を視察して頂きましたが、玉城町は平坦な地形のため、自転車での利用もあります。中井町は丘陵地のため、受け入れやすい状況が整っていると聞いています。
- 会長：中井町の場合、行き先が分散しているため、路線バスとの乗継が可能かどうかも含めて今後検証し、出来る範囲を明確にした上でPRして頂きたい。
- 委員：通勤通学利用の場合は定時利用でその都度電話予約が必要となりますか。予約方法として定時利用に応じた予約が出来ないものなのでしょうか。
- 会長：ぜひ中井町に合った形で、上手に設計していただきたいと思います。

委員：中井町の方は、秦野駅や二宮駅へ行く場合、自家用車で送迎が多いと想定されますが、駅前広場が混雑することもあるため、公共交通を活かすよう利用して頂きたいと思います。

会長：協議事項のため、委員の皆様にご承認を頂くこととなりますが、この計画案は今年度末の実証実験の内容なのか、中期的な観点での内容なのかどちらでしょうか。

事務局：この内容で実証実験を行いたいということです。

会長：技術的な検討はこれからなのか、この計画の基本方針を踏まえ今後技術的検討をするのかどちらのスタンスでしょうか。

事務局：この計画の基本方針を踏まえ今後技術的検討をするということです。

会長：実現化方策も承認事項に含まれますか。

事務局：運営主体と契約方式については結論が出ていないため、実現化方策については運行事業者のみご承認していただきたいと思います。

委員：運行エリアの中で町外目的地が提示されていますが、ロビンソンや足柄上病院まで候補にすることは出来ないでしょうか。

会長：ご意見は頂戴しましたので、実証運行以降に検討していただきたいと思います。

委員：運賃として町内を移動する場合が200円程度、町内から町外目的地を移動する場合が300円程度とすることが考えられるとなっておりますが、この計画どおりとなるのか、今後検討するのかどちらでしょうか。

事務局：次回提示したいと考えています。

委員：運行時間帯として1台につき1日の運行時間を12時間以内とするとなっておりますが、何時から何時位でしょうか。夜間の9時や10時頃まで対応可能でしょうか。

事務局：次回提示したいと考えています。

委員：1台につき12時間以内のため、2台の時間をずらしたら拡大するのではないかと。

事務局：1台が8～20時、もう1台が10～22時という運行方法もあるため、今後検討していきたいと考えています。

会長：この計画（素案）について一括してご承認を頂きたいと思いますが宜しいでしょうか。

－ 承認 －

事務局：参考資料として先進地事例やコンビニクルのパンフレットを配布していますので、時間のある時に見て頂きたいと思います。また、国庫補助申請については本日現在、交付決定の通知を頂いていませんので、次回議題の1つとして挙げさせて頂きたいと思います。次回の会議につきましては、8月の20日前後に開催したいと考えていますので、宜しくお願い致します。本日はありがとうございました。今後、本日頂いたご意見等を踏まえ、バス事業者等と調整し検討していきたいと考えていますので、引き続き宜しくお願い致します。以上を持ちまして、本日の会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

- 出席委員：中井町自治会連合会会長 小林 敏男  
境地区バス利用対策委員長 桜井 岑生  
公募委員 廣澤 瀧男  
東洋大学国際地域学部教授 岡村 敏之  
関東運輸局神奈川運輸支局首席運輸企画専門官 中澤 延夫  
神奈川県環境共生都市部交通企画課長 (代理) 久保田 貢  
神奈川県県西土木事務所長 河原 正幸  
神奈川県松田警察署長 (代理) 橋本 和彦  
神奈川中央交通(株) (代理) 平岩 敦  
神奈川県タクシー協会小田原支部 飛弾 龍美  
神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 (代理) 加藤 雅範  
中井町副町長 早野 茂  
中井町地域支援課長 曾我 裕之  
中井町福祉課長 金子 豊  
中井町まち整備課長 加藤 幸一郎  
中井町教育課長 山本 清和  
中井町老人クラブ連合会長 小清水 正臣  
中井町社会福祉協議会長 植木 年男  
中井町商工振興会長 加藤 正人  
中井町PTA連絡会長 小宮 邦俊  
グリーンテクなかい企業連絡協議会長 久保田 一宏
- 欠席委員 公募委員 原 礼子  
神奈川県バス協会常務理事 山崎 利通

事務局：中井町3名

傍聴者：2名